

平成27年度

保育所(園)入所申し込み

平成27年4月以降に、保育所(園)・認定こども園(保育園)の入所(園)を希望する場合には市への申し込みが必要です。申込書は10月20日(月)から配布いたしますが、事前に園の見学を行い保育内容等確認していただきますようお願いいたします。
※詳しくは10月号をご覧ください。

問 こども課 ☎25-5206

秩父エリア

回数券タクシー

モニター100人を募集



秩父地域1市4町で構成される「ちちぶ定住自立圏公共交通部門」では日常生活のなかで気軽にタクシーを利用していただけける仕組みをつくることにより、外出環境の改善とタクシー産業の活性化を目指すため、実証実験を行っています。

高校生を対象とした「ふれあいミーティング(市長と語る会)」参加者募集!



大人になっても住み続けたい秩父のまちを、どんなまちですか?市長と一緒に考えてみませんか。

とき 11月23日(日・祝)午前10時~正午
ところ 歴史文化伝承館1階研修室2・3
テーマ 高校生が考える秩父のまちづくり
対象 市内在住・在学の高中生

問・申 9月30日(火)までに秘書広報課(☎22-2505)へ

利用料金は平均28・5%お得!

登録された住所から市内7か所(西武秩父駅・秩父駅・御花畑駅・秩父市立病院・秩父病院・ウニクス・矢尾百貨店)の乗降場所に限りご利用可能です。住所地から7か所のうち最も遠い地点までの運賃を算出し、一乗車につき半額の料金(100円未満切り上げ)でご利用いただけます。(※事前予約が必要)

登録申請書は秩父市役所・各町役場・市内7か所の乗降場所に用意されています。また、インターネットからもダウンロードできます。

申 アイサーフ(株) ☎25-7766

黒谷234-2(月)金午前10時~午後6時

問 市民生活課 ☎25-5200

地域包括

支援センターだより

問 地域包括支援センター

☎22-2582

いつまでも家で暮らしたい

認知症高齢者

80歳のAさんは、夫が他界し、一人娘も市外へ嫁ぎ、現在は一人暮らしをしています。

最近、約束の日時を忘れてしまったり、また、以前はきちんと飲んでいた薬も飲み忘れてしまうことが度々ありました。また、以前はよく畑仕事をしていましたが、最近では家で横になって過ごすことが多くなり、何事もやる気がおきない様子です。

畑仕事をするAさんの姿を見かねなくなったことが気になり、近所のBさんが訪問してみると、家の中の片付けもできていないようです。Aさんの様子も以前のはつらつとした感じはありません。心配になったBさんは、地区の民生委員に相談してみました。

相談を受けた民生委員は、早速Aさんの家を訪問したところ、認知症の症状に似ていたため、市外に住む娘へ連絡しました。地域包括支援センターでは、認知症高齢

者のことや、介護保険サービスのことなどについて相談のつてくれることも説明しました。

娘は、さっそく地域包括支援センターへ連絡し、「電話で訪問する日を伝えても、忘れていることがあり、少し疲れているようにも感じましたが、年のせいだろうと思っていました。」と話しました。職員から認知症専門医への受診や介護保険サービスの利用についての説明があり、Aさんが安心して生活できるよう、対応を一緒に考えていくことになりました。

認知症専門医を受診した結果、やはりAさんはアルツハイマー型認知症と診断されました。現在は、娘家族のサポートや訪問介護、デイサービスなどの介護保険サービスを利用しながら、在宅での生活を続けています。近所の方や民生委員の見守りもあり、Aさんに笑顔も見られるようになりました。

このように、認知症になっても家族や地域のサポート、介護保険サービスの利用により、住み慣れた地域での生活が継続できる場合もあります。認知症について正しい知識や関心を持っていただくことが大切です。当センターでは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を支える「認知症サポートー養成講座」を実施しています。受講をご希望の方は、お気軽にご相談ください。